



音楽会が終わりました。

この音楽会を通して子どもたちから教えてもらったことは「信頼」と「自立」です。

合唱も合奏も自分のパートを力いっぱい演奏します。一人ひとりの歌声や奏でる音が集まり重なりひとつの曲ができあがります。

練習を重ねるごとに自信をもって演奏する子どもたちの姿を目の当たりにしました。

そんな姿をみて、思い浮かんだ言葉が「信頼」です。

信頼をブランコに例えると、「信頼のブランコ」にかかるロープは2本でないといけません。そうです。お互いに出し合うものでなければなりません。片思いのような信頼では子どもは安心できません。1本のロープでは子どもは不安定な状態となり、その1本が切れたら落ちてしまいます。ブランコはたいてい2本のロープでささえられています。それが3本以上であるとより強固になるでしょう。周りにいる人たちがどれだけ互いに信頼しているかで、その子どもの安心度が違ってきます。

このように、互いに支えられていると、人はあきらめません。そして、失敗しても信頼のロープを切ることはありません。失敗すると心に傷を受けるでしょう。恥ずかしいし、逃げ出したいくなるでしょう。しかし、支えられていると、信頼のロープは切れません。

やっぱり人間はどこかで支えられたり、励まされたりしているときは、あきらめたり、逃げたりはしないものです。

次は「自立」です。

今、さかんに言われるのが、子どもたちの自立の難しさです。自立が難しい理由として、信頼関係が考えられます。人に対して信頼感を持ってない子どもは、自分自身を信頼することもできないのだと思います。だから、人に対して言いたいことを主張することも難しいでしょう。ありのままの自分をさらけ出すことにおびえていると言ったほうがいいかもしれません。それを打破するには、互いに信頼関係を築くことが必要です。

「信頼」と「自立」は密接に結びついているのです。

音楽会に戻りましょう。

素敵な合唱・合奏を支えたのは、子どもたち同士の強い信頼関係と自信の賜物です。この音楽会を通してあらためて「音楽のもつ力」の大きさ、子どもたちの無限の可能性を知ることができました。

最後になりましたが、ご多用な中、ご来校いただきました保護者の皆さま、地域の皆さまにお礼申し上げます。ありがとうございました。